

## 統合開発環境CS+のお知らせ

統合開発環境CS+の対応ビルドツール(コンパイラ)バージョンの拡張について 連絡します。

### 1. 該当製品およびバージョン

統合開発環境CS+ V3.00.00

### 2. 対応ビルドツール(コンパイラ)バージョンの拡張

#### 2.1 内容

CubeSuite+でサポートされていた以下のビルドツール(コンパイラ)が、CS+ V3.00.00 で使用可能になりました。

< 対象となるビルドツール(コンパイラ)のバージョン >

- RH850 コンパイラ CC-RH  
V1.00.01
- RXコンパイラCC-RX  
V1.02.00, V1.02.01, V2.00.00, V2.00.02, V2.01.00
- V850コンパイラ CX  
V1.20, V1.21, V1.30
- RL78,78K0R コンパイラ CA78K0R  
V1.20, V1.30, V1.40, V1.41, V1.50, V1.60
- 78K0コンパイラ CA78K0  
V1.20, V1.21

#### 2.2 インストール方法

##### 2.2.1 インストールの前準備

製品版 CS+ V3.00.00、または、無償評価版のCS+ V3.00.00をインストールしてください。すでにパソコンにインストールされている場合には、再度インストールする必要はありません。

CubeSuite+ V2.02.01以前の環境を保存するには、CS+インストール前に、プロジェクトと開発ツールをパックして保存機能を使用してください。

本機能の使用方法は、以下をご参照ください。

CubeSuite+ V2.02.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル 起動編  
[CS+ for CA,CX]

2.8.3 プロジェクトと本製品をパックして保存する

[https://www.renesas.com/cs+\\_document](https://www.renesas.com/cs+_document)

## 2.2.2 CubeSuite+のビルドツール(コンパイラ)のコピー

CubeSuite+環境にインストールされているコンパイラのバージョンフォルダをCS+のインストールフォルダへコピーしてください。

< 参考 >

コピー元: CubeSuite+デフォルトのインストールフォルダの場合

C:¥Program Files¥Renesas Electronics¥CubeSuite+¥コンパイラ名  
¥バージョン

コピー先: CS+デフォルトのインストールフォルダの場合

- コンパイラ CC-RH、CC-RXの場合

C:¥Program Files¥Renesas Electronics¥CS+¥CC¥コンパイラ名  
¥バージョン

- コンパイラ CX、CA78K0R、CA78K0の場合

C:¥Program Files¥Renesas Electronics¥CS+¥CACX¥コンパイラ名  
¥バージョン

## 2.2.3 ビルドツール(コンパイラ)のバージョン指定

追加したコンパイラを使用する際には、CS+ のビルド・ツールの  
下記プロパティにて、コピーしたフォルダのバージョンを指定してください。

共通オプション タブ

-> バージョン選択

-> 使用するコンパイラ・パッケージのバージョン

## 2.3 アンインストール方法

2.2で追加したコンパイラをアンインストールする際には、コピーした  
フォルダ内の全てのファイルを、手動で削除してください

## 2.4 注意事項

インストール、アンインストールする場合には、Windows の管理者権限が  
必要です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.